

2024年9月25日

令和6年度9月 学位記授与式学長告辞

九州工業大学長 三谷康範

学位記授与式を迎えられました修了生の皆さん、誠におめでとうございます。皆さんが本日無事に学位を取得されたことは、九州工業大学にとって大きな喜びです。栄えある門出を迎えられた皆さんに、九州工業大学の教職員を代表して心よりお祝い申し上げます。また、この日まで修了生を物心両面から支えてこられたご家族、友人、ホストファミリーなど、関係者の皆様にもお祝いと感謝の気持ちを伝えたいと思います。

さて、近年、生成AI技術の社会実装のスピードは目を見張るものがあります。生成AIの助けにより、あらゆる情報処理が飛躍的に効率化しています。一例として、複雑な文章も言語や文化の壁を乗り越えて高速に翻訳され、その精度も飛躍的に向上しています。このような背景から、新しい試みとして、この告辞は皆さんが大学院生活を過ごされた日本語でお話しし、その内容をいくつかの言語に機械翻訳したものをあらかじめ配布することにしました。中には正確でない表現が含まれることもあるかもしれませんが、こうして皆さんと一緒に多言語で喜びを分かち合えることは、この場を共有する参加者全員にとって大きな価値を持ちます。

このような状況の下で、教育研究の場での生成AIの使い方に関してはさまざまな意見が出されています。人間が安易に頼ってしまうことの危険性を指摘する意見もある一方で、使う側の意識が十分に高ければ、これほど強力なツールを使わない手はないと考えるのが自然です。皆さんは、ここ九州工業大学において、多くの高度な知識を積み上げて考える力を鍛え、常に社会課題を意識しながら研究に取り組む姿勢を養い、技術者としての研鑽を積んできました。その結果、皆さんは、生成AIに使われるのではなく、AIを使いこなすだけの素養を身につけています。これからも種々の革新技术をうまく使いこなして、更なる飛躍を目指してください。同時にこうした未来社会を先取りして技術を開発する先見性を研ぎ澄ませてください。

現代の科学技術の進展は、自由で開かれた環境のもと様々な知性と個性を持

った人々の出会いと交流を通じてイノベーションが創出されてきたことによるものだと思います。世界の分断によって知の交流の機会が失われるとすれば、その損失は計り知れないものとなります。ここで大切になってくるのが、日常的な人と人、あるいは組織と組織の間のグローバルな交流です。

今、世界を見渡すと残念なことに、多くの分断により紛争や政治的対立が深刻になってきています。このような状況だからこそ、本日学位記授与式を迎えられた皆さんが、これから社会に出てから果たす役割が極めて重要になります。物事をよく観察・分析し、そして考え抜き、真理を極める姿勢を持って、政治情勢に惑わされることなく多くの国の仲間と協働し、世界の技術者と切磋琢磨する機会を持つことによって、これからの世界平和に貢献することができるでしょう。今、そのような皆さんの将来の姿が想像され、とても楽しい気持ちで一杯です。

本学において、多くの国・地域から人々が集まり、日々の生活を共に過ごし、時に悩み、時に助け合いながら今日の日があるのではないかと思います。また、福岡、九州、日本、そして世界の多くの文化に触れて多くの人々との交流の機会を持たれたかと思います。その間、一人一人が多くの人的ネットワークを築かれたことと思います。これからそれぞれの道を歩み始めますが、これからも、強い絆で築いたネットワークを今まで以上に深めていってください。物理的に離れていてもさまざまな手段で繋がり、直接対面で会えば握手やハグをして旧交を温め、武器ではなく熱い議論をもって戦う関係を私たちアカデミアは作り出すことができるのです。

いま、本学では多様性の創造を重要なキーワードに掲げています。多様性は融合のイノベーションを引き起こすために不可欠な要素です。本学は工学系の単科大学ですが、ジェンダーや国籍、民族の多様化を図っており、ここに他大学、自治体や企業などに属する人々が加わっていくことで、限られた集団では発想し得なかった考えが生まれる確率が飛躍的に高まることは容易に想像できます。すなわち、多様性の高さはイノベーション創出の機会の多さと強い相関を持ちます。

皆さんは本学でたくさんの良き友を得たと思います。本学で展開された全ての出会いがこれからの皆さんの将来を豊かにしてくれることを確信しています。また、そこから新しいネットワークが蜘蛛の巣のように広がり、本学のネットワークと融合して、私たちにも大きな力となります。

最後になりますが、皆さんが本学における多くの良き出会いを財産として、今後も精力的に新しい知見を積み重ね、人生を楽しみながらご活躍されることを祈念し、皆さんの栄えある門出を心から祝福申し上げ、告辞と致します。本日は、誠におめでとうございます。